



小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和2年11月4日 第7号
小笠原村立小笠原中学校
校長 小野満 賢

学校ホームページ
<http://www.ogachu.que.ne.jp/>



学校フェイスブック
<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



有り難いこと

校長 小野満 賢

帰りのおがさわら丸は、低気圧の前線の影響でだいぶ揺れたものの定刻通りに二見港に到着し、12日間に及ぶ今年度の修学旅行が終了しました。

小笠原の気温とは20度ほど低い日もあった中で、生徒たちは一様に薄着だったにも関わらず、一人も発熱者が出なかったことが何よりでした。それぞれが緊張感をもって生活していたことと、マスク着用・手洗い・うがい等を徹底したことが功を奏したのだらうと思います。宿泊先はどこも感染症対策を徹底していました。チェックインの際の体温の計測、至るところに置かれた消毒液、従業員の方のマスクやフェイスガード姿は当たり前前の光景でしたし、テーブルや座席の配置自体を大きく変え、食事の際に十分な距離が保たれるように工夫されていました。京都の宿での修学旅行の定番の「すき焼き」も、大きな鍋を数人で囲むスタイルではなく、全員が前を向き一人用の鍋で黙々と食べる姿が「withコロナ」の象徴的な食事風景でもありました。

修学旅行実施に大きく舵を取るきっかけになった帰島前のPCR検査にも真剣に向き合いました。島にウイルスを持ち込まないようにすることが検査の最大の目的であること、どんなに対策をしても、そして無症状であっても、感染している可能性はあることを生徒にも伝えた上で、検査に臨みました。もしもの時の対応は全教員と繰り返し確認していましたが、結果が出るまで内心はハラハラしていました。全員が陰性であることが分かった時は心の底から安堵し、ほっと胸をなでおろしました。

生徒たちは様々な経験をし大きな成長を遂げて帰ってきました。感性の柔らかいこの時期に、実際に見たり聞いたり触れたりすることで心が揺さぶられ、さらに興味や関心が広がります。事前に調べ、計画を立てるのはどこにいてもできますが、時計を見ながら班の仲間で協力して目的地を回ることや、予定通りにいかない場合の対処の仕方や、リカバリーの仕方は、実際にその場で経験してみなければ分かりません。政府の施策として10月1日から利用できるようになったGOTOトラベルの地域クーポン券を利用しての買い物など、タイムリーな経済活動にも触れることができました。12日間寝食を共にしたからこそ新たに分かった仲間の姿もあったでしょう。

もちろん成果だけではありませんでした。幾つかの大きな失敗もあり、自分たちのふがいなさに涙する場面もありました。この学年の良さや強みも、甘さや弱みも全て含めて、修学旅行に行かなければ決して見えてこなかったこと、気付くことができなかつたことがたくさんありました。改めて保護者・地域の皆さまにご理解・ご協力をいただき、修学旅行を実施することができて良かったと心から思います。全てをひっくり返して、決して忘れられない思い出になったのではないのでしょうか。

「当たり前のことなどありません。すべては有り難いことです。」

奇しくも薬師寺で説法をしてくださったお坊さんも、座禅体験をした建仁寺のお坊さんもおっしゃっていました。有り難いとは、有るのが難しい、滅多に起きないことが起きたことを指します。そんなに希なことに出会ったのだから、かたじけない、もったいない、恐れ多いという感謝の気持ちを表す「ありがとう」の語源となっているものです。改めて今回の修学旅行は、極めて厳しい状況下でたくさん「有り難いこと」に支えられていたことを実感しました。お世話になった多くの方々プロの意識をもって本校の修学旅行が無事に行えるように、本校の生徒たちが困ることのないように、様々なところで尽力してくださったことに心から感謝をしています。

京都から戻った晩に急性虫垂炎を発症し、手術のために入院した生徒がいます。これはやむを得ないできごとで、発症が船中や帰島後でなくて良かったと思っています。楽しみにしていた東京ディズニーランドに行けなくてかわいそうだと、生徒たちはその生徒のためにたくさんのお土産を買っていました。ディズニーランドの帰り道、「こういうのが欲しいと言っていたので買いました」「病み上がりのお腹にやさしいお菓子を買いました」と仲間を思いやる生徒たちの様子に、私も温かい気持ちになりました。そしてまた本校の生徒たちには、身の回りにあるたくさん「有り難いこと」に気づき、謙虚な気持ちで感謝できる人になって欲しいと強く思いました。

ダンス発表会

体育的行事委員会担当 麻生 直人



10月4日(日)、本来であれば小笠原村の一大イベントの一つである小中高連合運動会が開催される予定でしたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、運動会は中止という判断が早々に決まりました。そこで、保健体育科として「何か少しでも代わりになる機会を設けたい」「感染のリスクを最小限に抑えた上で、生徒に達成感を味わわせたい」「保護者の皆様にも楽しんでいただきたい」そう考えた結果、各学年でのダンス発表会を行うことにしました。

ダンス発表会に向けて、多くの生徒が練習から前向きに取り組んでいました。1年生はダンスの経験者を中心に各グループで仲良く練習し、楽しそうに励んでくれました。2年生は経験者が少ない中、なんとか成功させようと努力している姿が印象的でした。3年生はダンス実行委員を中心に工夫を凝らし、皆が笑顔の中で練習を進めていきました。

それぞれの学年でいろいろな工夫をし、本番を迎えました。緊張している1年生。責任をもってやり遂げようとする2年生。楽しもうとしている3年生。それぞれの学年にとって、今回の発表会は意味のある時間になったのではないかと感じています。観に来ていただいた保護者の皆様にも、存分に楽しんでいただけたのではないのでしょうか。今回は例年と違う形での保健体育の授業の成果を発表する場になりましたが、いつもと違うからこそ、有意義な時間にできたと思っています。今回も、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

第2学年「夢の教室」日本サッカー協会(JFA)主催

第2学年主任 宮本 寛信

10月7日(水)、2年生では5・6校時に日本サッカー協会(JFA)主催の「夢の教室」が行われました。元プロサッカー選手の法師人美佳さんに内地からZoomを利用した講演をしていただきました。体が小さく、女の子でサッカーをプレーしている人が今よりも少ない時代であったため、サッカーをやることで擲擻されるなどつらい経験をしてきたこと。足も遅く、身体的・技術的にも他の選手より秀でたものがなかった選手生活であったこと。ご自身が経験されたことをたくさんお話しいただきました。その中で「人のせいにはしない」「何事にも全力で取り組む」「継続は力」など力強い教をいただきました。2年生はこの講演の内容を無駄にしないよう、日々精進して行ってほしいと思います。

講師

法師人美佳さん

(ほうしと みか)

東京都出身。2001年にユニバーシアード日本女子代表に選出され、同年開催の北京大会に出場。大学卒業後の2004年にさいたまレINAS(現 浦和レッズレディース)に加入。148cmと小柄ながら豊富な運動量とタイミングの良い前線への飛び出しでMFとしてプレー。加入1年目から公式戦11試合に出場するなど活躍されました。



第3学年 修学旅行

第3学年学級担任 麻生 直人

10月13日(火)から始まった1泊12日の修学旅行には、そこに至るまでに長い長い道のりがあり、また、たくさんの乗り越えるべき壁がありました。

今回、2年生の段階から事前学習を始め、担任からは「関」「管」「感」3つの「かん」というテーマを生徒たちに伝えてきました。

「関」…色々なことに関心を持ち、たくさんの人に関わること。

「管」…時間・物の管理など自己管理をきちんとすること。そして思い出を保管すること。

「感」…たくさんのことに感動し、そしてすべてのことに感謝をすること。

この3つの「かん」が達成できたときに、卒業という「完」に向かっていけるのだということを話していました。2年生のときからとても楽しみにしてきた修学旅行でしたが、そうすんなりとはいきませんでした。昨年から世界中で爆発的な流行をみせる新型コロナウイルス感染症の影響により、5月に予定していた日程が10月に延期となりました。予定していたものを全てキャンセルし、また一からのスタートとなりました。先方からキャンセルされることもあり、当初予定していた行程をそのまま実施するのが難しい状況でした。その後も、なかなか終息の目途が立たない状況に、「もう修学旅行には行けないかもしれない」と何度も頭をよぎりました。それでも「なんとかこの行事だけは生徒に行かせてあげたい。」「実現したい。」という学校側の強い意志と熱意に、小笠原村教育委員会をはじめ、保護者の皆様方のご理解とご協力をいただき、なんとか10月に実現できる運びとなりました。

そして迎えた10月13日(火)からの12日間は、本当に充実していました。

上級学校訪問では、一人きりで公共交通機関を使って移動し、見知らぬ土地を訪問することの緊張感とそれを終えたときの達成感。

初めて見る鹿や大きな大仏。京都の古都ならではの情景。新幹線から見えた富士山。目にするもの全てに感動して、キラキラした嬉しそうな瞳。

宿舎の中での美味しいご飯。ちょっとした友達とのひととき。皆で行ったディズニー。

それらの一つ一つが、全て生徒たちの一生の宝物になったことと思います。私も同じように、一生の宝物を彼らからもらいました。

そのような貴重な時間を生徒たちと過ごせたのも、保護者の皆様をはじめ、たくさんの方々のお支えがあったおかげです。この場をお借りして、改めて感謝の「感」を皆様に心から伝えたいと思います。関わってくださった全ての方々、本当にありがとうございました。

この修学旅行を糧にし、卒業という「完」を迎えるその時まで、最高の学校生活を送れるようにこれからも支えて、見守っていききたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



未来に残そう青い海・小笠原海上保安署図画コンクール

美術科担当 湯本 美樹

将来を担う子どもたちに、海洋環境について考える機会を提供することで海への関心を高め、海洋環境保全思想の普及を図るとともに、海上保安業務への理解の促進を図ることを目的として、小笠原海上保安署主催による「未来に残そう青い海・小笠原海上保安署図画コンクール」が実施されました。今年度本校では夏休みの課題として希望者が取り組み、第1・2学年生徒から提出された作品を応募し、3名が入賞しました。なお、11月10日(火)～15日(日)の期間に応募全作品が地域福祉センターにて展示される予定です。

小笠原海上保安署 優秀賞 田村 隼(1年) ・ 鯨江 和人(1年)
佳作 持田 翼(1年)

(敬称略)

PTAブイ・フロート清掃

副校長 坂本 司

10月24日(土)25日(日)のブイ・フロート撤去及び清掃により、今年度の青灯台での遊泳を終了いたしました。例年よりも遊泳期間がひと月ほど長かったため、ノロの付着も多くなっていましたが、小笠原小・中学校の児童・生徒、保護者・地域の方々、教職員が共に汗を流し、清掃を行いました。

今年度も関係機関の皆様のご協力のもと、青灯台での遊泳を実施することができました。改めて厚くお礼申し上げます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



生徒会 新役員 発足

生徒会担当 山浦 康志

10月1日(木)に実施しました生徒会役員選挙及び立会演説会により、これから1年間にわたって小笠原中学校生徒会の中心となって生徒会活動を推進する4名の役員が決まりました。今の気持ちを大切にして、頑張っていってほしいと思います。

令和2年度 後期 委員会名簿

役員会	第1学年		第2学年		第3学年	
	生徒会書記	小野 哲平 生徒会書記 田中 直人	生徒会会長	五十里圭汰 生徒会副会長 小林 佑司		
学級委員	◎老松 慧吾	○大田 仁奈	○村上 弦汰	◎工藤 甘実	◎松谷 春輝	○片岡 心優
生活委員	◆一木 砂紋	◆川上 楓	○富田 夏未	◎松原 有咲	前澤 奏二	佐藤 晴海
美化委員	◆鯉江 和人	◆筒井 友香	◎高瀬 陽介	○南 翔太	木村 優真	嶋 遥太
保健委員	根本 波留	◆吉田 梨乃	○櫻田 励	◎大源 勇士	金子善一郎	和田 莉奈
放送委員	◆宮川 心平	◆後藤 美咲	◎柏木 瑞紀	○横山 翔	佐藤 一樹	宮川 幸貴
図書委員	◆大井 昂輝	◆池田 杏	◎稲田 琉風	○林 鈴之助	小野寺鼓童	常磐 昊佑
体育委員	◆有田 一輝	◆池田すみれ	◎緒環 良吹	○池田 環菜	オオヒラローキ	大田 優奈
福祉委員	○持田 翼	◆田村 雫	◎柏木 美紀	◆木村 和海	福山 廉	木村 万奏

◎委員長 ○副委員長 ◆書記 (敬称略)

11月の行事予定

2日(月) 振替休業日
 3日(火) 文化の日
 4日(水) 学校朝礼 安全指導 眼科検診
 自転車安全点検 芝生の日 職員会議
 5日(木) 食育講話 SC勤務
 放: 各種委員会・中央委員会
 6日(金) 避難訓練
 7日(土) 東京都教育の日
 8日(日) 立皇嗣の礼
 9日(月) 生徒会朝礼 保育実習(3年)
 10日(火) お弁当の日
 11日(水) 部活動中止(19日まで)
 12日(木) 小テスト(国語) SC勤務
 13日(金) 小テスト(英語)
 16日(月) 学校朝礼 小テスト(数学)
 体育館使用中止(30日まで)
 17日(火) 島しょ研修会 校内研修

18日(水) 期末考査1日目(国語・英語・保体)
 19日(木) 期末考査2日目(社会・数学・音楽)
 20日(金) 期末考査3日目(理科・技家・美術)
 21日(土) 数学検定
 23日(月) 勤労感謝の日
 24日(火) 学校朝礼
 25日(水) 校内研修
 26日(木) SC勤務
 放: 各種委員会・中央委員会
 27日(金) 卒業アルバム写真撮影(3年)
 28日(土) 耳鼻科検診(2年)
 30日(月) 職場体験(2年)(12月2日まで)

※ 第1学年の家庭科の調理実習は、3学期1月に予定していましたが、2学期12月実施に変更いたしますのでお知らせいたします。